

# 許さない新軍事空港を!

府が極秘裏に  
空港建設調査

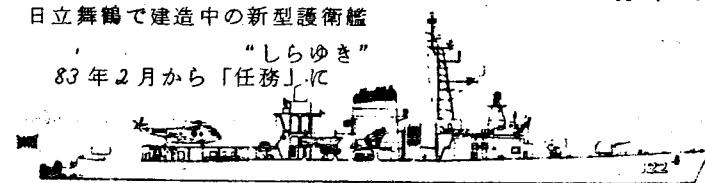
京都の労働者、市民、学生の皆さん！驚くべき勢いで軍備が増強され戦争の危機が近づいている現在、この京都府で新たな軍事空港の建設策動が進められているのを御存知でしょうか。

去る11月20日の府議会決算委員会で質問に答える形で、林田知事はこれまで秘密裏に京都に空港を作る可能性について、候補地等を民間の調査機関に委託して調査をさせていたことを認めました。そしてこの調査費1200万円は、議会の承認も得ないで山陰線複線電化費を流用していたことも明らかにしました。

京都府に空港を作ることは、既に第三次府総合開発計画でも「必要性を検討」と述べられているにもかかわらず、府はなぜこのような徹底した秘密のうちに空港調査を行おうとするのでしょうか。それはこの空港が表向きは民間空港でありながら、その最大の目的は舞鶴の海上自衛隊基地強化の一環として、対潜作戦用の軍事空港を作ることにあるからです。

日立舞鶴で建造中の新型護衛艦

“しらゆき”  
83年2月から「任務」に



舞鶴基地の飛躍的  
強化ねらう軍事空港

舞鶴地方隊は日本海に面する唯一の海上自衛隊基地として重要な基地であり、ここ数年の間にも新しい艦艇（左下図）などの配備によって大幅にその侵略的機能を強化しようとしていますが、これまで航空隊（海自の航空隊は対潜水艦用）を持っていませんでした。以前竹田五郎前統幕議長が舞鶴を訪れた際、舞鶴基地が航空隊を持っていないことに触れ、「土地ぐらいいはどうにでもなる」と空港建設の必要性を訴えたと言われています。

こんどの空港も、このような舞鶴基地教化策動の延長線上にあることは確実ですが、さらにそれを裏づける財界人の発言があります。

（発言1）「空港は（府北部と）京都の中間に設置。海上自衛隊、第八管区海上保安本部も利用させれば採算がとれる」（81. 9. 12 三府総シンポで、舞鶴商工会議所渡辺会頭）

（発言2）「空港は丹波に。費用は自衛隊に三分の二ほど持たせればよい」（81. 11. 17 府総合開発審議会栗林副会長）

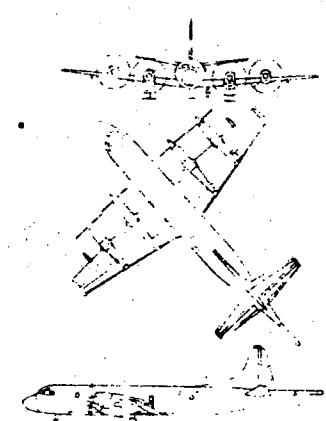
このように制服、財界人は軍民共用の空港をねらっている訳ですが、もちろん重点は軍用であり、海上自衛隊が現在導入を急いでいるP-3C（右図）などが配備されることは確実です。

京都府の一大軍事  
ゾーン化許すな

すでに京都府は南部に中部方面隊の大弾薬庫や巨大な補給基地、京阪神に向けた治安弾圧部隊などの重要な基地群を、北部には舞鶴海自基地を持ち全国でも屈指の軍事地帯ですが（裏面参照）、伊丹の中部方面総監部と舞鶴基地をつなぐ近畿自動車道はすでに工事が着工されており、さらにこの軍事空港が建設され、南部の基地群とバイパス等でつながると、京都府はまさに大軍事ゾーンとして機能することになります。

侵略に向けた自衛隊の強化・再編が進む中で我々は京都においてそのような策動を絶対に阻止しなければなりません。私達「反軍フォーラム」は他の団体や現状に対して危機感を持つ多くの人達と一緒にしてこのような動きを粉碎してゆきたいと思います。基地や自衛隊のことなど皆さんの情報をよせ下さい。

対潜哨戒機P-3C



ウラ面  
も見て下さい



## 反軍フォーラム

京都府は陸・海・空軍の基地を持ち、既に全国でも屈指の軍事基地密集地域であるが、更に府南部の基地群に軍事研究のシンクタンクである関西学術研究都市、北部には舞鶴基地の強化をねらった軍事空港も計画され、それらが完成すれば京都府は文字どおりの“軍人天国”になるだろう。

# 京都の軍事基地群

(反軍フォーラム作製 1981.12)

## 反軍フォーラムとは？

軍事予算の聖域化、「有事」法体系確立の策動、日米共同演習、刑法改悪などの治安立法の強化、「戦える自衛隊」を目指した「防衛二法」改悪の策動、右翼的労組統一による労組の「産業報国会化への動き、行政改革による大衆収奪、教科書国定化、愛国心の強要などに見られる国家主義的イデオロギー攻撃、職場・学園での管理強化、「中道」政党の右傾化による政党の翼賛化、「スパイ防止法」、「機密保護法」制定の策動、三軍一体となつた侵略を可能ならしめる「中央指揮所」建設着工、「シーレーシング」を口実とした「防衛」分担区域の大幅な拡大、軍需産業の育成をねらう財界人の「GNP 1%以上」発言etc...と78年を境に今日にいたるまで戦争へとつながる策動が目白押しです。そして支配層は83年の総選挙をきっかけに改憲を行おうとしています。このような流れに抗し、状況をくつがえすべく、京都の有志によって今年結成されたばかりの団体が「反軍フォーラム」です。自衛隊解体・安保粉碎を目指して、基地に対して様々な抗議・阻止行動を行なつたり、軍事問題に関する講演会、学習会、調査活動などを行なっています。

今我々の生活のあらゆるレベルで戦争につながる動きがあります。皆さんの回りでそのようなことがあれば私達にお知らせ下さい。反軍フォーラムに対する御意見・御批判もお待ちしています。

※連絡先：〒602 京都市西陣郵便局私書箱81号

反軍フォーラム

